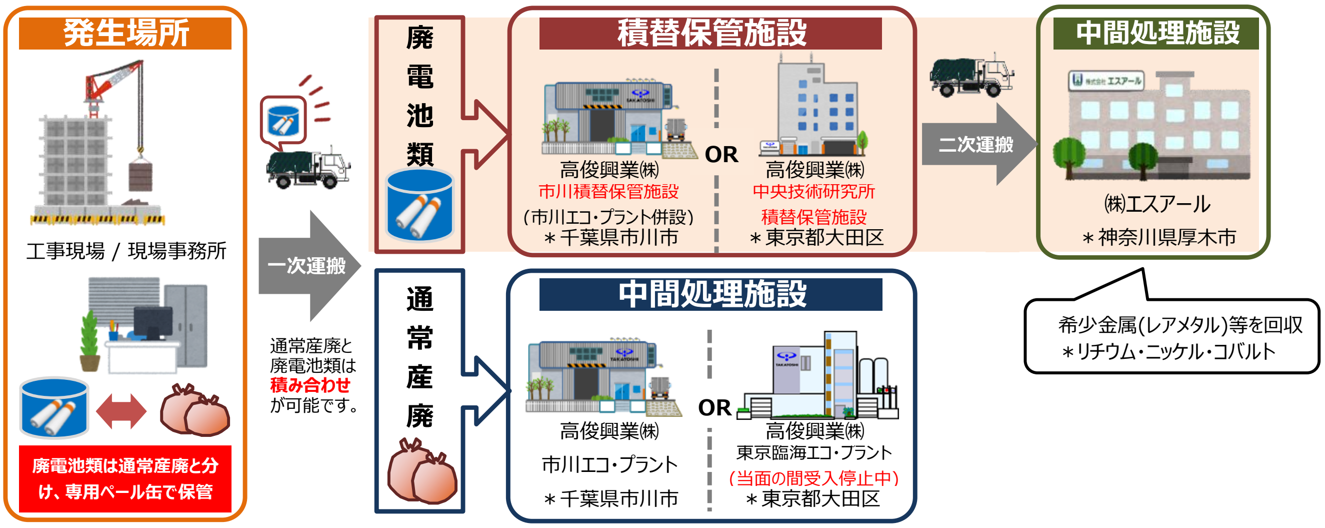
廃電池類の受入れについて

高俊興業株式会社　営業本部
令和8年1月

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
この度、**弊社積替保管施設**（千葉県市川市/東京都大田区）にて、**「廃電池類」**の受入を開始しましたので、お知らせいたします。

処理の流れ

処理開始前には、新たな委託契約の締結が必要です。



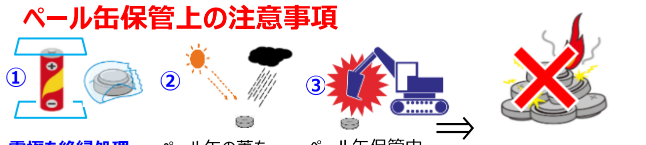
搬出の前に

契約締結後に専用ペール缶をお渡しします

専用ペール缶(収運・処分費を含む)
専用ペール缶(金属製20ℓ)
サイズ　H36ｃｍ×φ28ｃｍ
20kgまで入れることが可能

処理費は営業本部にお問い合わせください。
TEL：03-3389-8112

ペール缶保管上の注意事項



① **電極を絶縁処理**する。(電池種類が判るように+極と－極をビニールテープ等で閉じる)
② ペール缶の蓋を閉めて保管し、**水濡れ・高温になる環境を防止**する。
③ ペール缶保管中は、**衝撃を避ける。**
⇒ **①～③の遵守で発火・爆発を防止**

ペール缶での受入れが可能なもの

電極の絶縁処理により、下記の廃電池類をペール缶内に混入することが可能です。

	判別マーク	主な種類	用途	主な電池類
乾電池（一次電池）		マンガン乾電池 アルカリ乾電池	使い切り電池で、汎用品として幅広く使用	円筒型電池、箱型電池
乾電池（一次電池）		リチウム乾電池 水銀電池 空気亜鉛電池	高電圧で、電容量が多く、長寿命	乾電池、ボタン電池、空気電池
充電池（二次電池）	Ni-Cd	ニカド電池	繰り返し使えるため、幅広い用途に使用	
充電池（二次電池）	Ni-MH	ニッケル水素電池	繰り返し使えるため、幅広い用途に使用	
充電池（二次電池）	Li-ion	リチウムイオン電池	繰り返し使えるため、幅広い用途に使用	充電式工具、充電式バッテリー、充電式乾電池

ペール缶での受入れが不可なもの

蛍光灯安定器　コンデンサ類　廃電池・充電工具以外の廃棄物　ペール缶に入らない物

裏面へ

充電池の危険性

リチウムイオン電池等の充電池は、発火・小爆発により火事等の災害を起こします。

＊**強い衝撃を与える・著しい高温に曝される・水に浸かる・絶縁処理しない電池同士が接触する**等により、発火・小爆発を起こします。
＊充電池が原因により、**廃棄物収運車両・廃棄物処理施設のみならず、現場の産廃保管場所でも発火**する事例が報告されています。
＊リチウムイオン電池が原因の火災が、**排出事業者の故意・過失により生じた場合は、排出事業者がその損害を負担しなければならない**場合があります。

※混廃ボックスの中に充電池を混ぜて捨てちゃ、絶対にダメ！
現場の産廃保管場所でも火災・小爆発を起こす恐れがあります。

火災原因のリチウムイオン

注意が必要なもの

充電できる製品、電源につながなくても動く・光る製品は、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

＊充電式工具・家電は、**電池を取り外し電池と本体を分けて**ください。電池抜取り後の本体は 抜き取ったことが分かるように排出してください。抜き取り状況が不明なものは、受入れできません。
＊廃電池は**ペール缶に入れて排出**してください。ペール缶に入る大きさの充電式工具・家電はペール缶に入れることができます。
＊充電池・乾電池の取外しをしていない工具・家電等は、混廃や**廃プラ・金属くずの産廃ボックスに入れない**でください。
＊ペール缶に入らない・充電池の取外しができない内蔵型の工具・家電の処理は、**廃電池の専門処理業者に委託**してください。

【電池を使用している主な製品（充電式を含む）】

解体時に発生	誘導灯	非常灯	インターホン	火災報知器	ガス・水道スマートメーター
作業終了時に発生	電動工具(充電式)	コードレス 掃除機	空　調　服	コードレス 送風機	ヘッドライト
	パイロン（カラーコーン）	ファン付防塵マスク	懐中電灯	作業灯	熱中症対策ウオッチ
主な不用品（残置物・個人所有物）	小型トランシーバー	タブレット	携帯電話	モバイルバッテリー	デジタルカメラ
	時計	ドローン・ラジコン	ノートパソコン	リモコン	コードレス家電
	ハンディファン	電子タバコ	ワイヤレスイヤホン		

＊残置物（施主の所有物）を廃棄する際は、**施主との契約が必要**となります。
＊個人の所有物は一般廃棄物に該当しますので、**当社への搬出はできません**。
＊その他、処分方法が不明な品目は、下記連絡先にお問い合わせください。

お問合せ先：　高俊興業株式会社　営業本部　　TEL：03-3389-8112